



ひまわり

☆☆今月のひまわり☆☆

暦の上では2月3日に立春を迎え、春の始まりとなりますが、まだまだ寒い日が多く続きそうですね。体調を崩さないよう気を付けてくださいね。『ひまわり』利用は予約制となっており、子どもたちは少人数の中、お互いの様子を見あいっこしたり、元気な声を聞きあいっこする姿が見られます。そんな子どもたちの表情は明るく笑顔がたくさん見られ、子どもさんたちの何気ない行動に心温まることがたくさんあります。暖かくなるのは、もう少し先になりそうですが、温かい『ひまわり』にみなさん遊びに来て下さいね。お待ちしております。



～大鬼がやってきた！～

1月22日(金)『ひまわり』では一足早い「豆まき」をしました。

まずは“鬼のけん玉”作り。鬼の顔作りでは目、鼻、キバはシールを貼って、最後に髪の毛をのりをつけて仕上げました。手作りした顔に、用意していた手を(けん玉代わりのセロテープの芯をぶら下げた棒)貼って出来上がりです。一つひとつ違った表情の鬼ができ、おちゃめな鬼ができましたよ。

その後は、けん玉遊びをしたり、「まめまきまかせて！」の読紙芝を見ました。すると・・・突然ドン！ドン！！ドドドー！！と、2階へ続くドアの方から大きな音がジャーン！と鳴り、大鬼が登場しました。みんなは一瞬、放心状態・・・泣き出す子、お母さんの方へ逃げる子などみんなびっくりしていました！！大鬼(赤鬼)が登場すると、最高潮の怖さで新聞紙を丸めた豆を大鬼の口にめがけて、お母さんと一緒に一生懸命豆まきしましたね。中には、机の下に隠れ気配を消そうとする子もいましたよ。みんなで大鬼をやっつけて、大鬼さんと仲良くなりました。大鬼の角にはかわいいリボンが付けられ退散して行きました。どうやらスタッフが赤鬼に扮していることが分かっていたようで、「早く先生に戻って！」と言われてしまいました。怖い鬼にも負けずみんなとってもがんばりましたね。お家でも豆まきを楽しんでくださいね。

=「夜泣き」のおはなし=

夜泣きの理由は明確にはわかっていませんが、1才頃までは睡眠サイクルが未熟なため、浅い眠りと深い眠りがうまく切り替わらず目覚めて泣くといわれています。また2才くらいになると記憶力がついて、日中に体験した不安を寝入りばなに思い出して泣くとも言われています。

0才児胸にぎゅっと抱え込む「おっぱいだっこ」をするとお母さんの心音やにおい、抱きしめられる適度な圧力を胎内での感覚を思い起こし安心するといわれています。

1才児一度目覚めると「眠いのに眠れない」といういらだちで泣くと考えられているので、部屋の明かりをつけ寝ぼけた状態から一度起こして眠くなるのを待つことや日中体を動かし適度に疲れると眠りやすくなるといわれています。

2才児昼間体験した不安や悲しいなどの感情をうとうとしているときに思い出して泣くこともあるので「大丈夫よ」「怖かったの？」などと声をかけて、添い寝したり抱きしめてあげる親の存在を感じると安心して眠れることがあるといわれています。

年齢別に対処法の1つを紹介しましたがいずれも、子育ての問題ではなく「眠いのに眠れない」というサインなので睡眠リズムが整うにつれなくなっていくといわれています。どうぞご安心を！

◇◆ブックスタート◆◇

生後3ヶ月検診時に渡された“引換券”をお持ちいただくと『ひまわり』で「絵本」をお渡しします。予約が必要ですが、読み聞かせの時間もありますので、どうぞご利用ください。

ひまわり利用曜日 & 時間のお知らせ
毎週 月～金
AM10:00～PM4:00